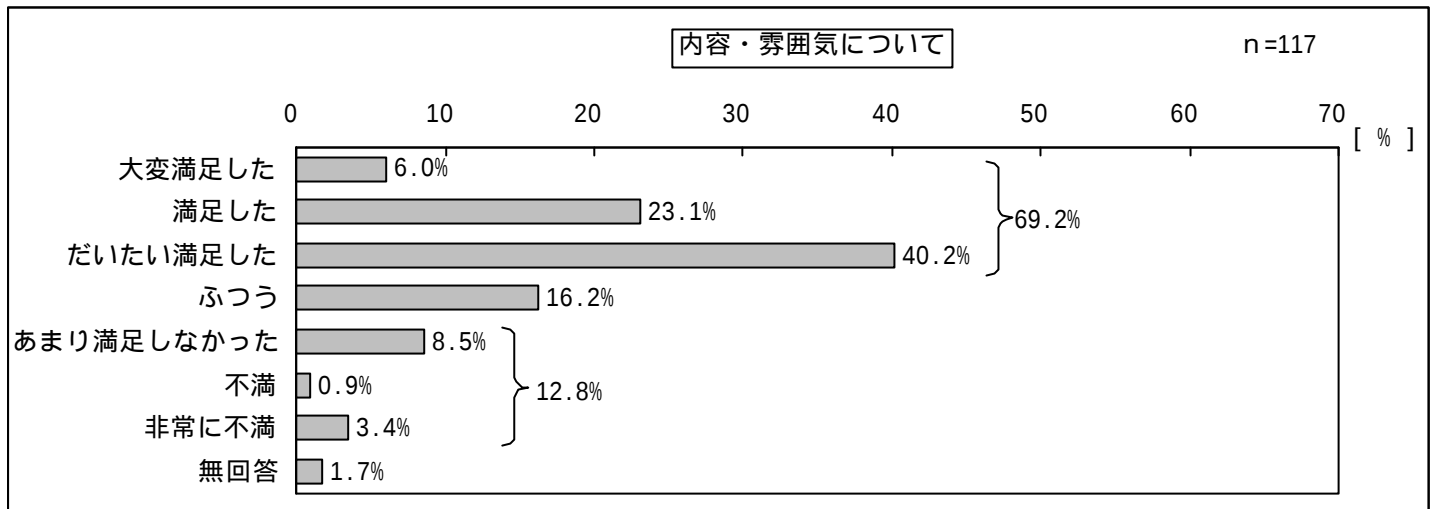
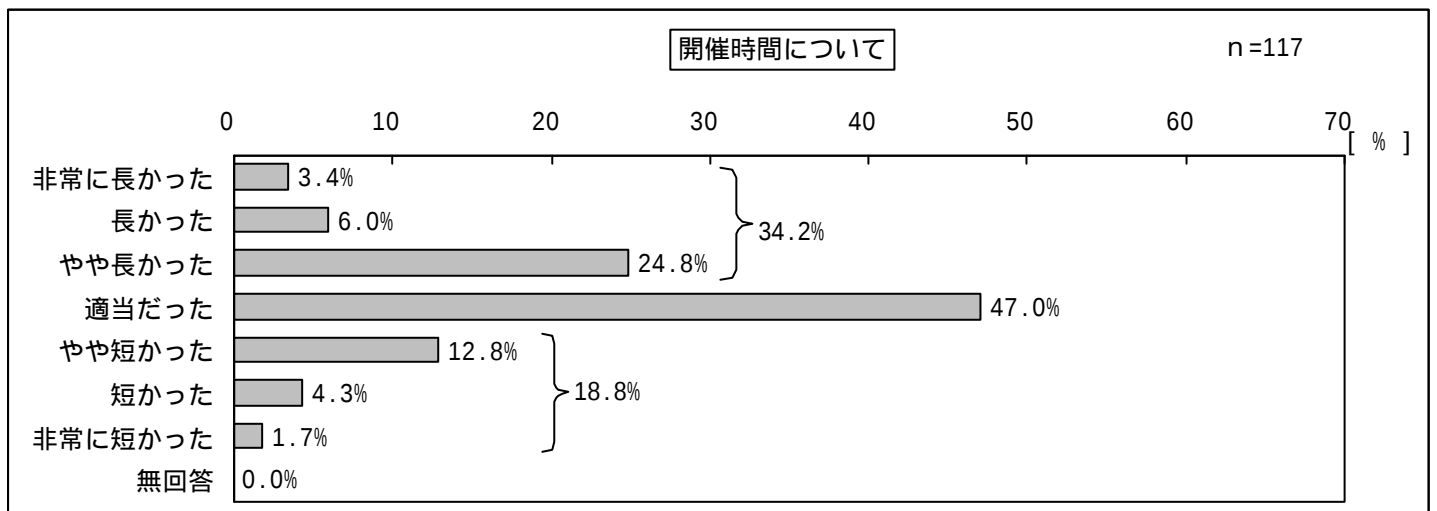


「市民参加懇談会 in 青森」アンケート結果

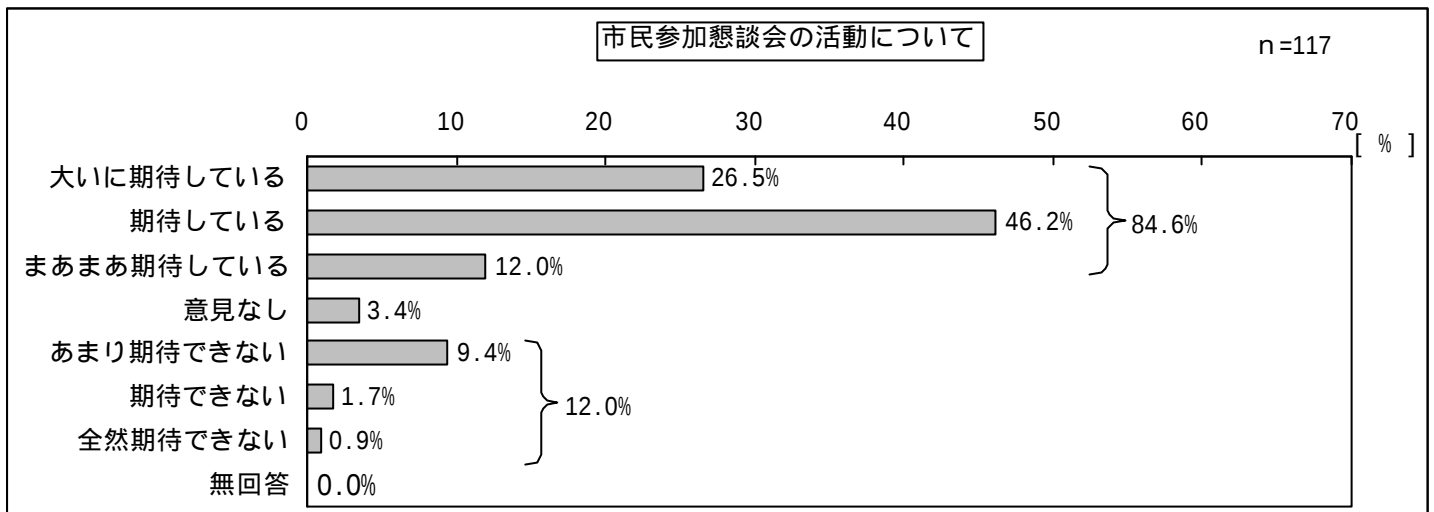
1. 本日の「市民参加懇談会 in 青森」の内容、雰囲気について、あなたのお考えに最も近いものの番号に○印をお付けください。



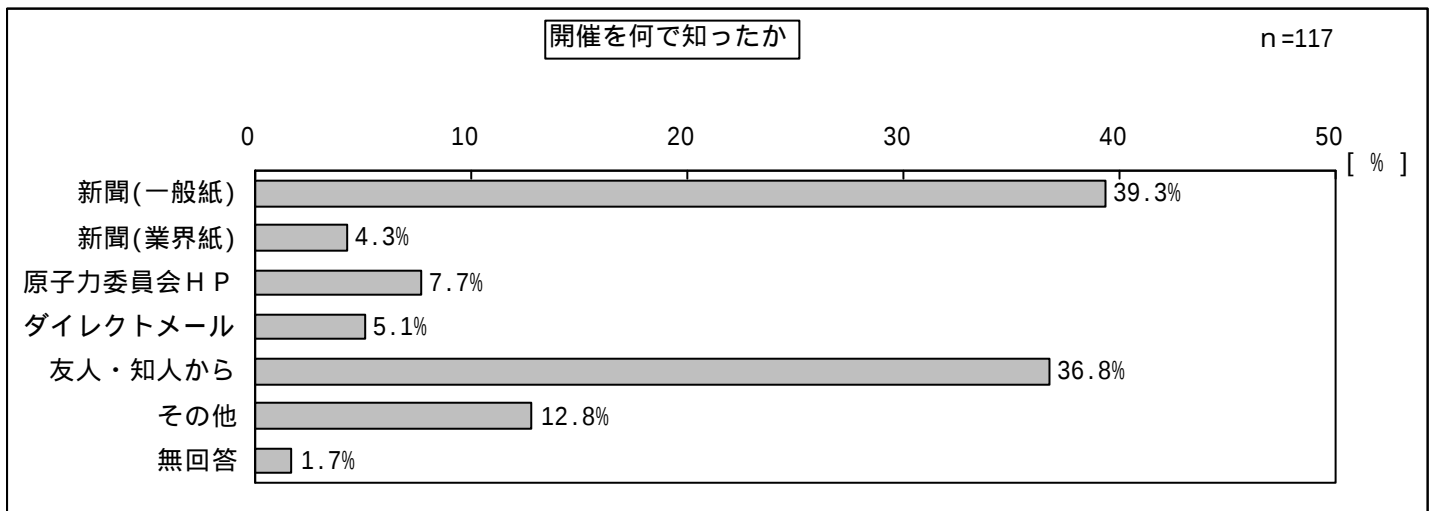
2. 本日の「市民参加懇談会 in 青森」の開催時間（3時間半）について、あなたのお考えに最も近いものの番号に○印をおつけ下さい。



3. 今後の市民参加懇談会の活動について、あなたはどのように思われますか。あなたのお考えに最も近いものの番号に○印をお付けください。



4. 本日の「市民参加懇談会 in 青森」の開催を何でお知りになりましたか。



5. 本日の「市民参加懇談会 in 青森」で、あなたにとって興味深かった意見や事項、その他お気づきの点などがあればお書きください。

- 使用済み核燃で揺れ動いている下北郡はむつ市に住んでいる。私は今回は本当に参加してよかったと思っております。もっと下北の方々にも聞かせてやりたいと思います。(60代以上 男性)
- 情報の送り手と受け取り側にメディアの果たす役割をどう考えるかという点、大変興味深く議論を聞くことが出来た。(60代以上 男性)
- 原燃さんの労働組合の方の意見が印象に残りました。誰もが安全に努力しているのです。結果が全ては働くものとしてはつらいですね。(20～30代 女性)

- 開催目的が地域の声(意見)を知りたいと言っているが、地域の出身コアメンバーやパネリストが極めて少ないことに問題がある。さらに原子力推進派の方が圧倒的に多いため公平さが見えない。(60代以上 男性)
- コアメンバー全ての人に発言して欲しい。(60代以上 男性)
- 基盤の原点に戻った話だったとは、とても思えない。でも一市民としての意見として書いておきます。原発とめましょう。再処理はやめましょう。(40～50代 女性)
- 原子力担当の地元のパネリストの参加と資料がもっと欲しい。まだまだ不安があるが、こういう機会を増やしていけば理解も出来る。(40～50代 女性)
- 日本のエネルギー事情について、もっと早い時期からの教育が必要と感じました。(60代以上 男性)
- 芦野さんの言葉「東大の先生より私の言ったことの方が信じてくれる」心にのこりました。(20～30代 男性)
- マスコミの情報提供のあり方について、その他本日出席されたコアメンバーの方から一言ずつでもご意見を拝聴したかった。(60代以上 女性)
- 色々な方が熱心に意見交換し大変勉強になりました。国(規制緩和)の安全評価基準と地元の安心レベルとは大きな較差があり増大している。安心はキリがなく拡大しているが、その「みぞ」を原子力委員会の努力で埋めて欲しい。(40～50代 男性)
- 司会者の進行、ハンドリングが悪い。発言者(会場)にはマイクを持っていく運営が必要ではないか。(40～50代 男性)
- こういった会を全国で開催してください。(20～30代 男性)
- 司会者が未熟である。時間の使い方がヘタである。(20～30代 男性)
- 質問、意見者がマイクの所に行くという方式はいかなるものか。(40～50代 男性)
- 時間が足りないくらいたくさんの意見を聞くことが出来なかった。続けて欲しい。(40～50代 男性)
- 再処理工場を動かす(ウラン試験)前に、本当に再処理・Puが必要なのかじっくり考えて欲しい。(20～30代 男性)
- この内容が地元紙に大きく掲載されることを期待する。母として身近な娘・家族・友人からこの内容を話したい。(40～50代 女性)
- 教育を考える必要があるかな。(20～30代 男性)
- 司会者はあまり意見を言わないほうがよい。発言の長い人は司会者が途中で意見を切るべき。最後のコアメンバーの発言は不要。(40～50代 男性)
- 蟹瀬氏が、「原子力問題が核廃物の問題を抜きにして始まったことが間違いであった。」とおっしゃった。同感である。高レベル最終処分地からは青森県が除外されるべきと思う。意見は事前にペーパーで出す中で、同様意見を一本化の方が広く意見を聞けるのではないか。聴取した意見がどう反映されるか注目したい。(40～50代 男性)
- 何か発言がよくなって、また話し方がはっきりしなくて、ダラダラしたものだった。用件のまとめ方が悪かった。(60代以上 男性)
- 参加しているコアメンバーの中に原子力に反対している人がいないので、賛成の意見ばかりでつまらないです。原子力関係の方と思われる方々の出席が目立つ。原子力、電力、役所からの情報はいつも隠されている部分が多い。勉強すればするほど原子力の怖さがわかってき

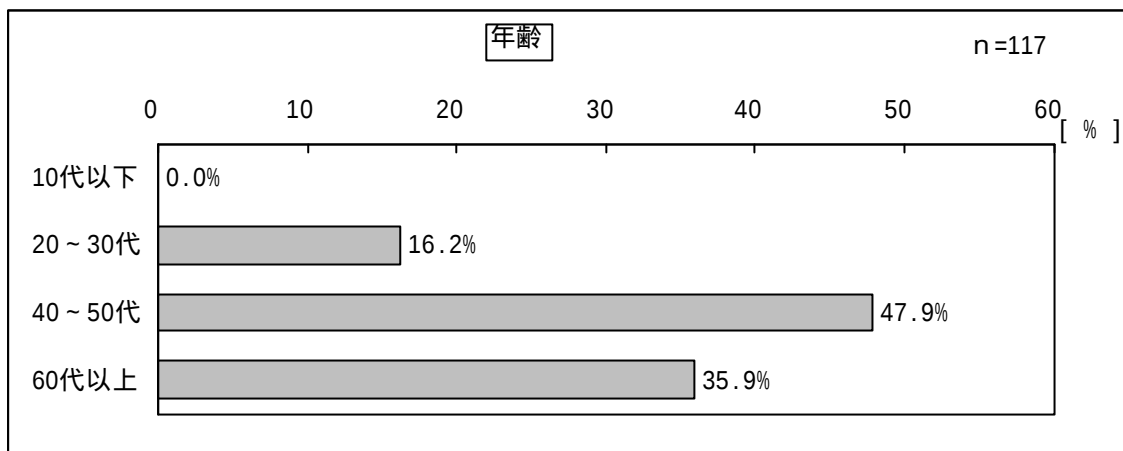
た。(40～50代 女性)

- 普通の主婦としての女性の方の発展的意見が多かったし、参加できて楽しかった。今回の質問内容は県民としてはレベルが低いかな。(40～50代 女性)
- コアメンバーの発言少なく残念。(60代以上 女性)
- 信頼度が崩れている。情報について人間の問題として知らせて欲しい。(60代以上 女性)
- 安全面に関心を持ちながら、これからも原子力関係について少しずつ学んでいかなければならないと思いました。(60代以上 女性)
- 小さいころから教育の現場でエネルギーについて議論している国の若者の方が関心が高いという蟹瀬さんの話、あるいは4才の子供さんを持つ女性の教育の現場で取り上げて欲しいという話、若い人の関心を引き上げることは必須のことと思います。(20～30代 女性)
- 環境問題も含め教育の段階より、一般的な教科として取り入れ、良し悪しは別として生活の大切な一部分として学び考えさせるべきだと思われます。(60代以上 女性)
- 報道関係の方の途中からの入場は差し控えてください。吉岡先生のような話のわかる人の進め方がよかった。国、関係者の返答は普段の報道の方の説明となんら変わらないものであった。一般市民のレベルの普通の身近な色んなことを知りたかったが、知りえなかったのが残念です。こういう機会をぜひ数多く開いて欲しい。(40～50代 男性)
- メディア論についてももう少し議論を掘り下げるとよかったと思う。(40～50代 男性)
- 技術論よりも一般人にわかるように開催数を重ねるしかないと思う。出席者に反対論者もかなりいたように思われ大変よかった。国も今回のように前面に出ることが必要である。プルトニウム利用政策をきちんと進めて欲しい。(40～50代 男性)
- 国と原燃の方々には、もっとはっきりと説明(事故その他)および、責任を持ってもらいたいと思います。努力努力で終わらないようにしてください。(60代以上 男性)
- 原子力を進めるという立場での懇談会では意味がない。将来のエネルギー政策を論ずるべき。(60代以上 男性)
- 原子力以外の新エネルギー特に冷熱、氷雪で炭素ガスを出さないエネルギー(雪国で利用できたらよい)。学校教育で原子力を教えて、子供に分からせたい。パソコン、インターネットを使っている子供に電気として使われるまでのことを教えたり、大切なことを分らせること。原子力の安全性のこと、保安院のお話、査察、検査、ダブルテストの件に関心を持って聞きました。(40～50代 女性)
- 参加した人たちはこの問題に興味のある知識もある人が多かった。それ以外の興味のない若い人や一般主婦を巻き込む集いになって欲しい。(40～50代 女性)
- 核燃サイクルについて、もう少し深く議論して欲しかった。テーマの設定に沿って司会進行が望まれる。(40～50代 男性)
- 第一部での意思決定の関わり方がテーマになるとまとめられ、それとの関係で住民投票、さらには国民投票について各委員のご意見を伺いたかった。基礎的知識が投票のためには必要と思われるが、パンフとか模擬館などあるが、より本質的な知識、プルトニウムの危険性など避けてはいけないと思う。(60代以上 男性)
- 意見交換の中で意見というより文句を言っている人が多いように思えた(男性)。女性の意見の方が分かり易く的確だったと思う。しっかり理解している訳でもないのにとうとうと文句を言う、これは大変聞き苦しかった。(20～30代 女性)

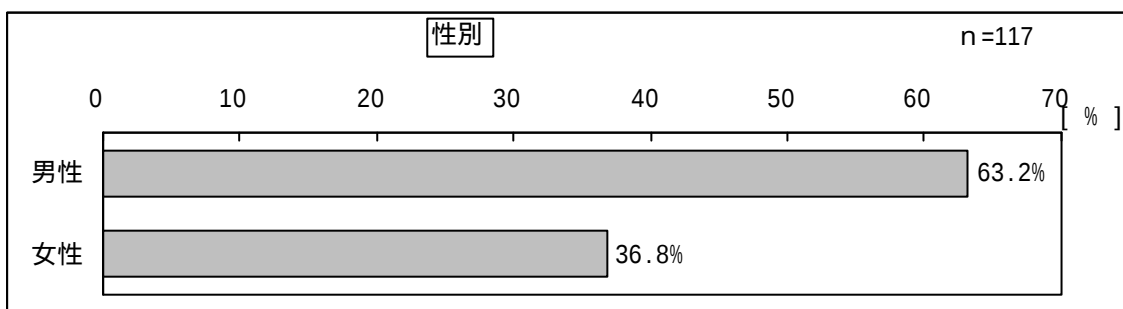
- 「安全」ではなく「危険」をベースとした議論や対応を行うべきとした意見。木元先生へ、「最終処分所に青森はしない」ということを国から確認してきた、ということを書いてもいいのですか。(40～50代 男性)
- 青森の六ヶ所原燃の現況を全国に情報発信してください。(60代以上 男性)
- 意見を事前に整理しておいたほうがよいのでは。的外れが少なくなると思う。(40～50代 男性)
- ネガティブスピーカーはやめましょう(40～50代 男性)
- 原子力教育の義務教育化(20～30代 男性)
- よく知っている人とよく知らない人との間を情報の橋渡しをする人がいない。本来はマスメディアがこの役割をすべきだが、モレタとかキズ、ワレがあるなどを話題として正しく情報を伝えていない。という意見には考えさせられた。(60代以上 男性)
- 司会の人の発言が多かったこと。質問者も簡潔にさせていただきたく思います。パネリストの方々は立派でした。素晴らしい人材でした。(60代以上 女性)
- 質問者の意見発表に際し、前置きが長く肝心の意見や質問にかかる時間が短いので、司会者をもっと効率よくする必要があると思う。(40～50代 男性)
- 弘前市の市民です。弘前に芦野さんという素晴らしい女性が存在したことに感謝です。機会があればお会いしてみたいと思います。そして知識を身に付けたいと思います。(40～50代 女性)
- 私は幸いエネルギーに関するサークルに入っており、東北、仙台、福島、六ヶ所等見学してまいりました。芦野さんが話されたように、自分の目で出歩き確かめることが大事。理解を深める。若い人の参加が少ない、もっと関心を持って欲しい。教育の場でも取り上げて欲しい。(60代以上 女性)
- 日常生活に便利で安全な電気に感謝いたしております。特に六ヶ所の人々には今後ともよろしくお願いし感謝しております。万一の時は最大の処置をお願いします。(40～50代 女性)
- 参加登録せずに一般の人が気安く参加できるようにすべき。会場が狭い、出入りに余裕を持たせるべき。開催前に質問をとり時間を効率よく。(40～50代 男性)
- 情報伝達は日常レベルの接点で話して伝えることが効果が大きい。(60代以上 女性)
- 情報は自ら求める。安全は安心を呼ぶことである。(40～50代 男性)
- 第一部の情報伝達の方法、内容、メディアの対応等も実際現実問題もあると思う。今日の機会はとてもタメになりました。(40～50代 女性)
- 若い人達にもっと原子力に対して興味、関心を持って欲しいと思います。(20～30代 男性)
- 学校教育でのエネルギー教育。マスメディアの取り上げ方。(40～50代 男性)
- 発言者の時間を制限すべき。会場に開催案内を早いうちから出しておくとか若年層の参加があったのではないか。(40～50代 男性)
- 時間を意識して進行を急ぐ部分があった。日本を将来こうしたいというような意見がなく残念でした。(20～30代 男性)
- 「知りたい情報」の前に「何を知らなければならないのか」の情報がない。(40～50代 女性)
- 懇談会の成果・傾向が今後の原子力政策に反省されるのか否か疑問。(60代以上 女性)
- 弘前の神田さんのご意見感動しました。原燃鈴木氏の主張は大切。量の議論が必要。(40～50代 男性)

6. 差し支えなければ、お答えください。

(1) 年齢



(2) 性別



以 上